

# 第56期 報告書

2016年3月1日～2017年2月28日



※JR北海道様ご提供



# グループ紹介



## 八ヶ岳連峰経営について

お客様との距離を短く保ちながら、スピーディな経営判断を実現するため、アークスグループは富士山のように高くそびえる大きな一つの企業体ではなく、八ヶ岳連峰のように同じような高さの山々が連なる企業連合を目指しています。



### グループ理念

アークスグループは、地域のライフラインとして  
価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。

グループ理念は、アークスグループがどのような領域で、どのような使命を持ち、目標を果たすのかを明確にしたもので、私たちが活動するうえでの考え方の基本となるものです。

# ご挨拶

私たち、アークスグループは、2002年11月より「八ヶ岳連峰経営」のもと、北海道および東北地方のグループ各社と共に、地域に密着した食品スーパーマーケットを中心とした流通企業グループとして、着実に成長を続けてまいりました。事業子会社間の統合を経て、2016年3月には(株)ベルジョイス、(株)道東アークスがそれぞれ合併により新たにスタートし、「損得より善悪 真心こめ美味新鮮適価で 高志の盟友と結ぶ新幹線」を2016年の年頭方針に掲げ、価値ある商品を最適価格、より良いサービスで提供し、地域シェアの拡大と共に企業価値の向上に努めてまいりました。

これからも、「アークスグループは、地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。」というグループ理念のもと、2018年春に本格稼働を予定しているシステム統合基盤構築プロジェクトの推進を通して、経営管理体制や持株会社と事業子会社の役割・機能強化に関する抜本改革の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長  
三浦 紘一

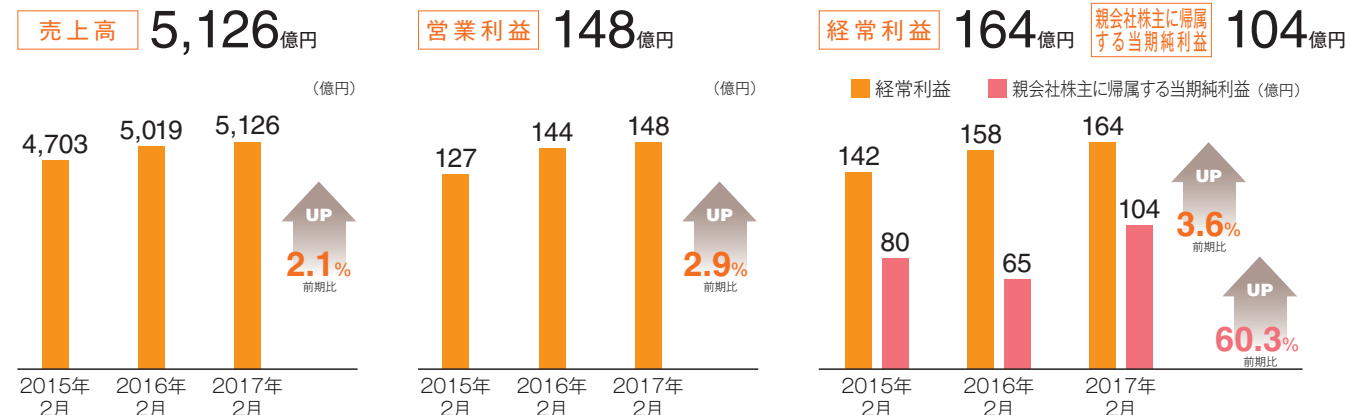


代表取締役副会長  
福原 朋治



代表取締役社長  
横山 清

## 業績推移





代表取締役社長  
横山 清

# 全員参加経営システム統合を軸に 地域創成の中心核となりWIN®を推進する。 平成27年 社長横山清

**Q.1** 今年の年頭所感(本ページ冒頭)には、どのような思いを込めたのでしょうか。

## A.1 労使一体となった全員参加で、システム統合基盤構築プロジェクトを推進する。

私たちが2018年3月の稼働を目指して構築を進めている新基幹システムは、売上高1兆円グループに向けたアークスグループの成長を支えるためのシステム統合基盤です。今後5年間で約100億円をかけて実行していく計画ですが、これは単なるシステム統合ではありません。トランスフォーメーション<sup>(※)</sup>計画と命名して、1兆円グループに向けての業務改革・組織改革を通じた基盤構築を進めております。規模のメリットを生かした商品調達や、業務の効率化・低コスト化も検討し、スーパーマーケット業界の標準システムとなり得るプラットフォーム構築を目指してまいります。

(※)元来は、物体や構造が変質すること。転じて、企業経営において、事業構造・業務プロセスの大幅な改革を行うことを指します。

**Q.2** 「WINの6乗」とは、何を意味するのでしょうか。

## A.2 アークスグループに関わる全ての皆様と、WIN・WINの関係を築き、共に繁栄したい。

私たちは、グループ理念の中で「地域のライフラインとして価値ある商品サービスを低価格で提供する」と宣言しております。これまで私たちが行ってきた地域密着の活動を、更に深いものに発展させ、地域社会創成の中心軸となることが重要だと考えております。目先の利益追求を優先することなく、「WINの6乗」、すなわち、お客様・従業員・お取引先さま・株主さま・地域社会・企業、という、アークスグループに関わる全ての皆様に高い価値を生み出すWIN・WINの関係を築きながら、愛と信頼を基盤とした企業グループを、万全なものとして育て上げていきたいと考えております。

次期見通し	売上高	5,200 億円	1.4% UP ↑	経常利益	168 億円	2.0% UP ↑
	営業利益	151 億円	1.7% UP ↑	親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円	4.7% DOWN ↓

## (株)ラルズ 東光生鮮流通センター、増改築を経て新たにスタート!!

札幌市を中心とした道央圏で事業展開を行う(株)ラルズが運営する生鮮食品流通センターが、増改築して「(株)ラルズ 東光生鮮流通センター」に名称を変更し、同じく札幌市を中心に事業展開している(株)東光ストアに対しても商品供給をスタートいたしました。作業効率や労働環境にも配慮した上で、従来以上の衛生管理の徹底および強化を目的とし先進設備を導入、より一層の高品質商品を、より多く提供できるようになりました。これにより、各店舗では更なるサービス向上に注力し、お客様の豊かな暮らしに貢献することを目指してまいります。



## アークスRARAポイントが東北地方でサービス拡大、更に道内初・公共料金にも適用開始で、もっと便利に!!



北海道・東北地方で276万枚発行されている「アークスRARAカード」が、いよいよアークスグループのベルプラス店舗(運営会社:(株)ベルジョイス)でもご利用いただけるようになりました。また、北海道内の流通業が運用しているポイント付与サービスとしては初めて、都市ガス会社の公共料金に適用するサービスを室蘭ガス株式会社様と開始いたしました。今後も提携先を増やし、地域のライフラインとして価値あるサービスを提供してまいります。

## 店舗の増改装・移転により、更に地域へ密着したサービスを提供します!!

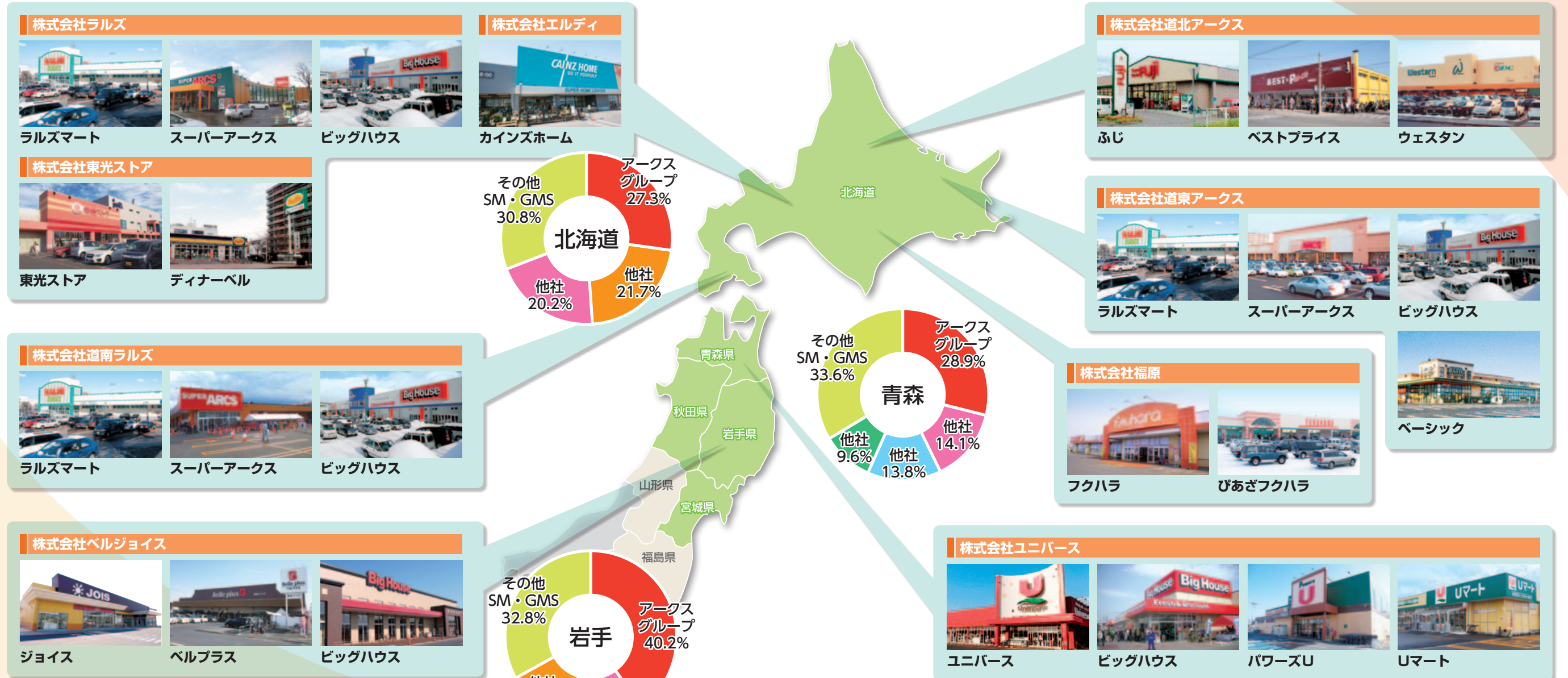
積極的な店舗改装・移転建替により、更に地域に密着したサービスを提供いたします。(株)道南ラルズは「スーパーアークス七飯サウス」、(株)ユニバースは「ユニバース十和田東店」をそれぞれ移転オープンし、(株)ラルズは「スーパーチェーンシガ奥沢店」を、「スーパーアークス奥沢店」としてリニューアルオープンいたしました。各店とも、更に便利なお店に生まれ変わり、地域のお客様の豊かな生活に貢献できる店舗を目指してまいります。



# Group

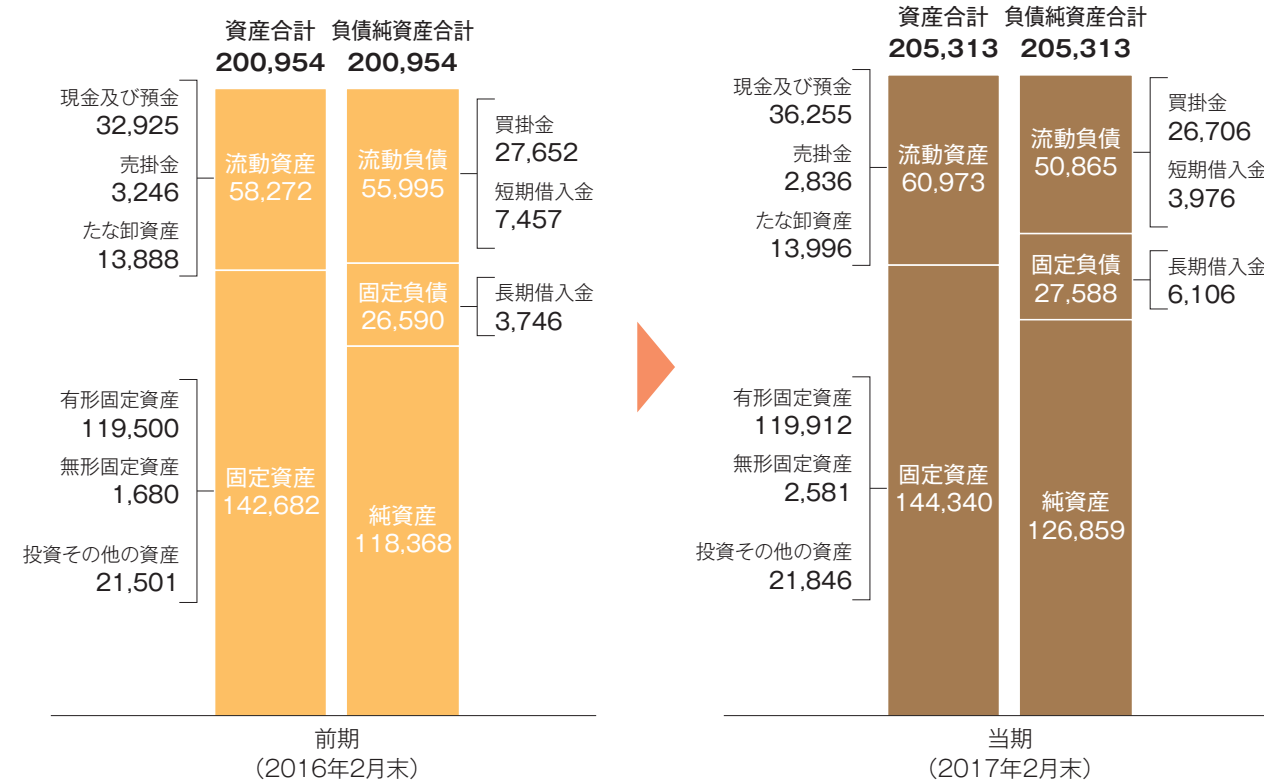
アークスグループは、様々なコンセプトの店舗を展開し、地域の皆様のお役に立ち

たいと考え、日々、努力を積み重ねております。お近くへお越しの際は、是非お立ち寄りください。



※市場シェア:食品売上高のシェア。[2016食品スーパーマーケット年鑑]を元に当社推計  
食品売上高は2015年度

## 連結貸借対照表の概要 (百万円)



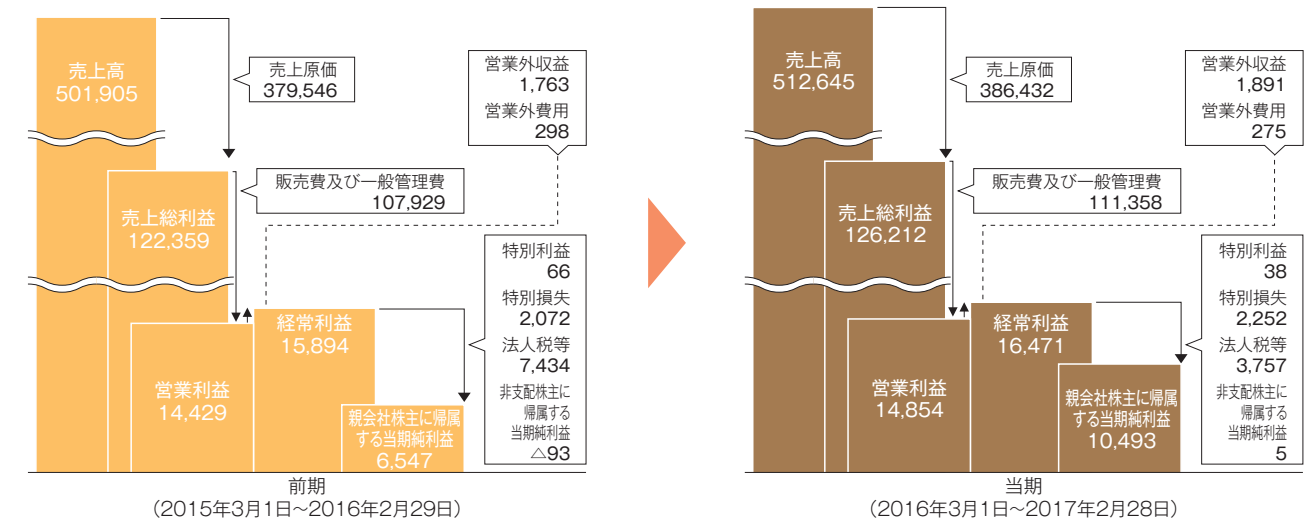
**連結貸借対照表のポイント**

総資産2,053億13百万円(対前期比2.2%、43億58百万円増)  
 負債784億53百万円(対前期比5.0%、41億32百万円減)  
 純資産1,268億59百万円(対前期比7.2%、84億90百万円増)  
 →自己資本比率61.8%(対前期比2.9ポイント上昇)

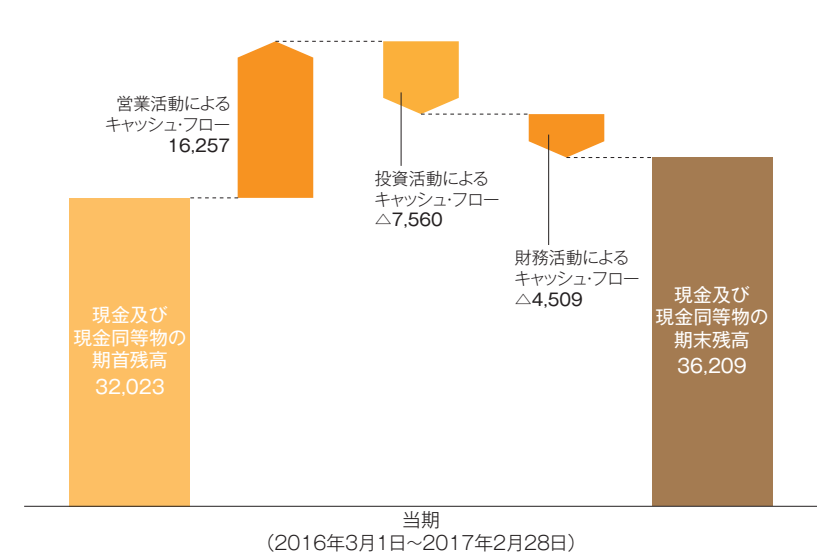
**＜主な要因＞**

- 現金及び預金が33億30百万円増、有形固定資産が4億12百万円増、無形固定資産が9億円増
- 買掛金が9億45百万円減、短期借入金が34億80百万円減、未払法人税等が11億32百万円減、ポイント引当金が5億3百万円増、長期借入金が23億59百万円増
- 利益剰余金が81億59百万円増

## 連結損益計算書の概要 (百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



**連結損益計算書のポイント**

売上高5,126億45百万円  
 (対前期比2.1%、107億39百万円増)  
 営業利益148億54百万円  
 (対前期比2.9%、4億24百万円増)  
 経常利益164億71百万円  
 (対前期比3.6%、5億76百万円増)  
 親会社株主に帰属する当期純利益104億93百万円  
 (対前期比60.3%、39億46百万円増)  
 <主な要因>

- (株)ラルズが平成28年2月に事業を承継した「スーパーチェーンシガ」の業績加算および新店効果等による増収
- 人件費増に伴い販管費が増加したものの、売上総利益率の改善が進んだことにより、前期と同水準の売上高営業利益率を確保
- 法定実効税率の低下および(株)ベルジョイスの繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、法人税等が減少したことによる増益

# 株主優待

日頃よりご支援いただいております株主の皆様へ、感謝の気持ちを込めて「株主優待制度」を実施しております。毎年2月末現在の株主様に対し、ご所有株式数に応じて当社グループ商品券、全国共通商品券VJAギフトカード、アップルジュース、青森県産りんごの4種類から一点とカタログギフトを贈呈しています。※送付時期は、りんごのみ12月上旬、その他は7月中旬の予定です。

所有株式数	ご優待1 arksグループ商品券	ご優待2 VJAギフトカード	ご優待3 アップルジュース	ご優待4 青森県産りんご	ご優待5 カタログギフト
100~499株	2,000円分	or	1箱	or	3,000円相当 または 3,500円相当の カタログギフト
500~999株	3,000円分	or	2箱	or	
1,000~4,999株	4,000円分	or	2箱	or	3,000円相当
5,000株以上	5,000円分	or	2箱	or	3,500円相当

いずれかひとつお選びいただけます。

※写真はイメージです。実際の優待品は写真と異なる場合がございます。  
※本年3月21日をもってホテル福原が休館となったため、株主優待制度の見直しを実施し、平成29年2月28日現在の株主名簿に記載された株主様より、上記表のとおり変更しております。

# 株式の状況

(2017年2月28日現在)

- 発行可能株式総数 200,000,000株
- 発行済株式の総数 56,650,468株
- 株主数 21,225名(前期比3,002名増)

大株主(上位10名)

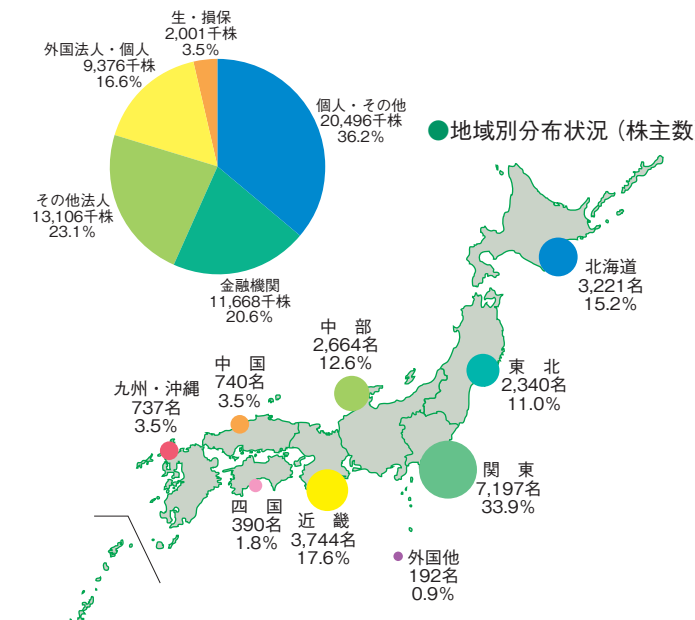
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
横山 清	3,027,154	5.44
株式会社北海道銀行	2,527,072	4.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,527,400	2.74
株式会社みまん	1,441,802	2.59
有限会社丸治	1,437,131	2.58
株式会社北洋銀行	1,399,144	2.51
株式会社謙徳	1,377,619	2.47
arksグループ社員持株会	1,078,398	1.94
三浦 紘一	1,072,945	1.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,008,000	1.81

(注) 持株比率は自己株式(1,069,779株)を控除して計算しております。

# 会社概要

- 商号 株式会社arks
- 設立 1961年10月28日
- 資本金 200億円
- 証券コード 9948
- 店舗数 338店舗(グループ全体、2017年2月28日現在)
- 従業員数 128名(グループ全体19,511名、2017年2月28日現在)
- 本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号
- 事業内容 純粋持株会社  
(国内外の会社の株式または持分を取得、所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する)

## ●所有者別分布状況(株式数)



## ●役員(2017年5月23日現在)

- |           |        |
|-----------|--------|
| 代表取締役会長   | 三浦 紘一  |
| 代表取締役副会長  | 福原 朋治  |
| 代表取締役社長   | 横山 清一  |
| 取締役常務執行役員 | 古川 公一  |
| 取締役執行役員   | 六車 亮樹  |
| 取締役執行役員   | 小苺米 秀樹 |
| 取締役執行役員   | 福原 郁治  |
| 取締役執行役員   | 井上 浩一  |
| 取締役執行役員   | 澤田 司久  |
| 取締役執行役員   | 猫宮 一浩  |
| 社外取締役     | 佐伯 亮子  |
| 社外取締役     | 佐々木 亮広 |
| 常勤監査役     | 佐川 幸博  |
| 監査役       | 児玉 勝智  |
| 社外監査役     | 高嶋 和範  |
| 社外監査役員    | 伊東 謙一  |
| 執行役員      | 増山 修   |
| 執行役員      | 阿部     |

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
剰余金の配当	毎年2月末日
中間配当	毎年8月31日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス <a href="http://www.arcs-g.co.jp/">http://www.arcs-g.co.jp/</a> ただし、電子公告をおこなうことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

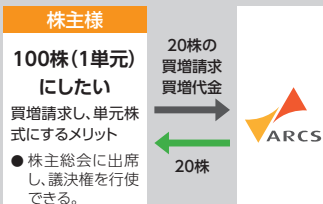
	証券会社等に 口座をお持ち の場合	証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の 証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金の お支払	上記お取扱店に加え、 みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	配当金の支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買増・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続をおこなっていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

## 単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1～99株)については市場で売買はできませんが、当社に対して100株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができます。

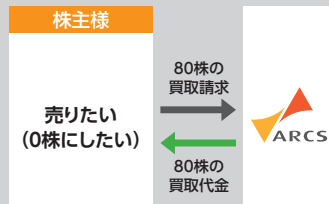
### 1.買増請求(購入)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



### 2.買取請求(売却)の場合

例:株主様が80株を所有している場合



- 証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。
- それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324 (平日9:00～17:00)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9948




空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

※アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp/>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局]  
TEL:03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



本社 〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号  
TEL 011-530-1000 FAX 011-530-1010  
<http://www.arcs-g.co.jp>

